平成19年度

環境報告書

ダイジェスト版

国立大学法人　愛媛大学

EHIME　UNIVERSITY

愛媛大学憲章

愛媛大学は，平成16年4月1日に国立大学法人愛媛大学となり，国の組織から独立した経営体として再出発することになった。愛媛大学は，学校教育法に謳われた大学の目的を踏まえ，自ら学び，考え，実践する能力と次代を担う誇りをもつ人間性豊かな人材を社会に輩出することを最大の使命とする。とりわけ，地域に立脚する大学として，地域に役立つ人材，地域の発展を牽引する人材の養成がこれからの主要な責務であると自覚する。知の創造と知の継承を担う学術拠点として愛媛大学は，基本目標を以下に定め，全構成員の指針とする。

基本目標

●教　育

1 愛媛大学は，学生が豊かな創造性，人間性，社会性を培うとともに，自立した個人として生きていくのに必要な知の運用能力，国際的コミュニケーション能力，論理的判断能力を高める教育を実践する。
2 愛媛大学は，地域・環境・生命に関連する教育に力を注ぎ，地域の現場から課題を発見し解決策を見いだす能力を育成する。
3 大学院においては，人間・社会・自然への深い洞察に基づく総合的判断力と専門分野の高度な学識と技能が身につく教育を実施する。
4 愛媛大学は，学生が入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができる学生支援体制を築く。

●研　究

5 愛媛大学は，基礎科学の推進と応用科学の展開を図り，知の創造と知の統合に向けた学術研究を実践する。
6 愛媛大学は，地域にある総合大学として，もてる知的・人的資源を生かし，地域・環境・生命を主題とする学術研究を重点的に推進する。
7 愛媛大学は，先見性や独創性のある研究グループを組織的に支援し，世界レベルの研究拠点形成を目指す。

●社会貢献

8 愛媛大学は，学術研究成果の還元と優れた人材の輩出を通して，社会の持続可能な発展，人類と自然環境の調和，世界平和に貢献する。
9 愛媛大学は，産業，文化，医療等の幅広い分野において最高水準の知識と技術を地域に提供するとともに，地域の諸課題の解決に向けて人々とともに考え，行動し，地域社会の自律的発展に貢献する。

●大学運営

10 愛媛大学は，相互に協調し啓発しあう人間関係を基調とした知の共同体を構築し，構成員の自発的・主体的活動を尊重する。
11 愛媛大学は，大学の特性と現状の批判的分析の上に立って明確な目標・計画を定め，機動的で戦略的な大学経営を行う。

愛媛大学環境方針

基 本 理 念

愛媛大学は，大学憲章において，地域・環境・生命を主題とする教育に力を注ぐとともに，この主題のもとでの学術研究を重点的に推進することを宣言しています。この理念のもとに，愛媛大学は，環境問題にかかわる教育や研究に積極的に取り組みます。また，愛媛大学は，人類社会の持続的な発展に寄与するため，環境について責任ある行動を取るとともに，地域の環境問題の解決に貢献します。この決意のもとに，以下に具体的な基本方針を定めます。

基 本 方 針

1．社会との調和を図りつつ，環境問題に積極的に取り組む人材を育成します。
2．環境を主題とする学術研究を推進します。
3．環境にかかわる知識と技術を地域に提供するとともに，地域社会の発展に貢献します。
4．大学で営まれる諸活動において，環境にかかわる法令の遵守に努めます。
5．省資源，省エネルギー，廃棄物の減量化および化学物質の適正管理などにより，環境汚染の予防と継続的な環境改善を行います。
6．教職員および学生が協力して良好な学内環境を構築し，地球環境に配慮するように努めます。

環境達成目標について

平成17年度に愛媛大学環境方針を策定し，平成21年度までの環境達成目標を設定し，その目標達成のための年度目標と実施計画を作成し環境配慮活動に取り組んでいます。
また，年度目標達成度の点検評価を行っています。

環境マネジメントシステムの構築について

平成19年度は，平成18年度に構築した環境マネジメントシステム（PDCAサイクル）の運用・改善を示し，組織的に環境保全活動の推進を図ることを目的とし，システムを確立し，維持するための「環境管理マニュアル」を作成しました。

環境負荷低減のための取り組みと実績

1．使用電力量の削減対策

本学の総エネルギー投入量（インプット）及び温室効果ガス排出量（アウトプット）に占める割合の大部分が電力使用によるものであり，電力量の使用抑制が最大の課題です。

平成19年度については，次のような具体策を実行しました。
①省エネルギー指導員を総員199名配置し，きめ細やかな節電運動の実施。
②省エネタイプ空調への更新。
③使用電力量（料）等を毎月，対前年度比較により各部局等へ通知，啓発。
④夏期一斉休暇の採用。
⑤クールビズ・ウォームビズの徹底。
⑥節電インセンティブ経費の配分。

2．水使用量の削減対策

①ポスターによる節水励行の推進。
②松山市水道局から節水シールの提供を受け，蛇口のあるところ全てに貼付。
③男子トイレの感知式自動洗浄の導入推進。
④節水コマの取り付け推進。
⑤各セグメントに毎月の水使用量の通知。

3．廃棄物削減及びリサイクルの推進対策

①両面コピーの推進。
②紙ゴミ分別を徹底し，トイレットペーパーへ交換。
③愛媛大学生協では，テイクアウト弁当容器，自動販売機の紙カップリサイクルの実施。
④総合情報メディアセンターでのプリントアウト用紙の有料化。
⑤会議資料としての紙媒体の削減。

4．活動に伴う環境負荷

平成19年度愛媛大学の活動に伴う環境負荷の主なものとしては，以下の結果となっています。

愛媛大学環境負荷とりまとめ表

分　類	種　類	単　位	17年度負荷量	18年度負荷量	19年度負荷量	対前年度増減	備　考
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	43,526,298	42,056,366	43,331,505	1,275,139	
	化石燃料（重油等）	L	2,811,151	2,257,704	2,088,017	－169,687	
	化石燃料（都市ガス等）	㎥	259,620	254,384	323,464	69,080	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－CO_2	25,292,803	22,677,066	22,338,289	－338,777	
	SOxの排出量	m^3_N	1,904	1,380	923	－457	
化学物質排出量・移動量	大気への排出量	kg	320	380	370	－10	クロロホルム　210－210 塩化メチレン　170－160
	事業所以外・移動量	kg	4,400	5,500	5,500	0	クロロホルム　3,900－4,000 塩化メチレン　1,600－1,500
廃棄物等総排出量	再生利用	t	377.6	505.9	429.4	－76.5	
	焼却	t	426.5	397.2	364.5	－32.7	
	最終処分量	t	518.5	412.6	436.6	24	
水資源投入量	上水	㎥	270,595	243,569	300,419	56,850	
	地下水	㎥	176,183	202,808	145,769	－57,039	
総排出量	下水道	㎥	121,828	127,865	121,163	－6,702	
	公共用水域	㎥	194,123	198,255	191,641	－6,614	
	BOD	mg/L	1.00	1.43	1.16	－0.27	重信地区

H17・18・19年度　温室効果ガス排出量

区　分	単　位	H17温室効果ガス排出量	H18温室効果ガス排出量	H19温室効果ガス排出量	対前年度増減	対前年度比率	備　考
道後樋又地区	kg－CO_2	211,375	178,617	164,735	－13,882	－7.77%	
文京２番地区	kg－CO_2	1,270,651	1,182,141	1,355,978	173,837	14.71%	
文京３番地区	kg－CO_2	5,123,403	4,572,818	4,472,450	－100,368	－2.19%	
持田地区	kg－CO_2	293,334	286,306	339,004	52,698	18.41%	
樽味地区	kg－CO_2	2,051,650	1,674,891	1,675,067	176	0.01%	
重信地区	kg－CO_2	16,219,812	14,691,672	14,250,372	－441,300	－3.00%	
その他地区	kg－CO_2	122,578	90,621	80,683	－9,938	－10.97%	
合　計		25,292,803	22,677,066	22,338,289	－338,777	－1.49%	

環境にかかわる法令遵守

1．化学物質の適正管理

化学物質の取扱い･管理については，適正な管理を実施し，事故等の防止を図るため下記の指針･規程･手引等により行われています。

①国立大学法人愛媛大学化学物質管理指針
②国立大学法人愛媛大学化学物質管理規程
③愛媛大学化学物質管理の手引
④愛媛大学化学物質管理システム

2．実験廃液の管理

実験廃液等有害廃液の取扱い・管理については，「国立大学法人愛媛大学有害廃液取扱要項」とそれに基づく「排水，廃液についての手引」により行われています。

3．排水の水質管理

排水の水質調査については，城北地区，重信地区，樽味地区では，毎月定期的に行っています。

■平成19年度環境報告書目次

1．巻頭言
2．愛媛大学環境方針
3．大学概要
4．環境マネジメント体制
5．環境目標と点検評価
　特集…愛媛大学における特色ある環境研究
6．環境負荷低減の取り組みと実績
7．環境教育にかかわる取り組みと実績
8．環境研究にかかわる取り組みと実績
9．環境にかかわる法令遵守の状況
10．第三者評価
11．編集後記

一度下記のホームページを覗いてみてください。
URL：http://www.ehime-u.ac.jp/shokai/loc_kankyo19.html

■作成

国立大学法人愛媛大学環境マネジメント委員会

■お問い合わせ先

国立大学法人　愛媛大学　施設基盤部安全衛生管理室
住　　所　〒790-8577　愛媛県松山市道後樋又10番13号
電話番号　089-927-8125　FAX番号　089-927-9107
E-mail　kankyou@stu.ehime-u.ac.jp
URL　http://www.ehime-u.ac.jp/shokai/shisetsu_center/honbu/shisetsu/